

中期経営計画（2025～27年度）

2025年3月28日
株式会社証券保管振替機構

中期経営計画の骨子

- ▶ 金融市場の重要基盤である決済インフラとして、信頼性及び効率性の高い証券決済サービスを提供するという当社の使命を確実に遂行することは、当社、ひいては資本市場全体にとって必要不可欠な要素である。
- ▶ さらに、デジタル化・グローバル化の進展や社会的要請を踏まえ、わが国資本市場の機能向上や業界横断での更なる効率化に向けて、当社のネットワーク基盤や新たなデジタル技術の活用を検討など、決済インフラとしての挑戦と進化に向けて取り組むことも重要である。
- ▶ これらの実現に当たっては、人材の確保・育成、協働・挑戦する組織文化の醸成、社員の会社への愛着・貢献意欲の向上を通じて、持続的な人的・組織的基盤の構築を図り、組織が高いパフォーマンスを発揮することが必要となる。
- ▶ これらを踏まえ、中期経営計画について次のとおり3つの基本方針を定め、業態横断的プラットフォームの担い手として、資本市場の構造変化に伴う利用者の課題解決をリードする存在となるべく、具体的な施策に取り組む。

中期経営計画 基本方針

1. 金融市場インフラとしての当社の使命の確実な遂行
2. 環境変化や社会的要請を踏まえた挑戦と進化
3. 持続的な人的・組織的基盤の構築

主要な取組みの概要

基本方針	取組みの概要
1.金融市場インフラとしての当社の使命の 確実な遂行	・将来も含めた適時適切なシステム更改、制度対応 － 株主情報システムの新規構築 － 一般債・短期社債振替システム及び投信振替システムの再構築 等 ・業務の最適化 － 業務の効率化・品質向上に向けた全社横断的な取組みの推進 ・リスク管理・BCPの充実 － リスク管理制度の継続的な改善 － サイバーセキュリティ対応態勢の強化及びセキュアなシステム構成の実現 － 継続的な全社的BCP態勢の強化及び実効性の確保
2.環境変化や社会的要請を踏まえた挑戦 と進化	・資本市場の機能向上 － 資本市場の機能向上に向けた対応 － 特別法人の出資証券（日銀出資証券）の取扱い等への対応 等 ・業界横断での更なる効率化 － 決済照合システムの再構築における具体的な対応の検討 － 口座管理機関における業務効率化・簡素化に資する施策の検討 ・利用者ニーズへの対応 ・ネットワーク基盤や新たなデジタル技術の活用に向けた調査・研究の深化・推進
3.持続的な人的・組織的基盤の構築に向 けた取組み	・持続的な人的・組織的基盤の構築に向けた取り組み － 持続的な業務運営に必要な人材の確保と育成等